

小学生を教えるための 第 43 回 JASTEC 研修セミナー

拝啓 平素より私ども日本児童英語教育学会（JASTEC）の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。1990 年より実施しております「JASTEC 研修セミナー」は、参加者から毎回ご好評を賜り、今回で 43 回目を迎えます。

さて、第 43 回研修セミナーは、2020 年の中学年開始、高学年教科化へ向けて、「**教科化を見据えて
一今準備すべきこと**」をテーマに、小学校英語に携わる先生方に役立つプログラムをお届けいたします。会員の方はもちろん、会員でない方も、ぜひこの機会にご参加いただきたくご案内申し上げます。

敬具

2015 年 5 月

日本児童英語教育学会（JASTEC）

会 長 國方 太司

セミナー実行委員長 衣笠 知子

◆とき：2015 年 8 月 1 日（土） 10:00—17:00

◆ところ：大阪成蹊大学

（〒533-0007 大阪市東淀川区相川 3-10-62）

阪急京都本線「相川」下車 5 分。阪急梅田駅より普通電車で約 20 分、急行にご乗車の場合は淡路駅で乗り換えください。地下鉄・堺筋線もご利用頂けます。

会場へのアクセス方法は以下の URL を参照ください。

http://www.osaka-seikei.ac.jp/seikei-daigaku/univ_manage/map_acces/acces.html

◆参加費：

会員種別	一般・学部学生会員	賛助・団体*会員	非会員
参加費別種	参加費 5,000 円	参加費 6,000 円	新規入会し、2015 年度年会費 6,000 円**と参加費 5,000 円（計 11,000 円）で参加

*賛助および団体会員は、所属 3 人まで会員として参加できます。 **学部学生の年会費は 4,000 円。

◆問合わせ先：セミナー実行委員長 衣笠 知子 TEL: 06-6429-9158 (研究室直通)

E-mail: tkinugasa@sonoda-u.ac.jp

◆**懇親会**：昼食時に、講師ならびに参加者相互の親睦を図る懇親会（参加費 1,000 円）を予定しています。参加ご希望の方は、セミナー参加申込時に合わせてお申し込みの上、セミナー参加費振込時に、懇親会参加費 1,000 円も合わせてお振込みください。なお、弁当準備の都合上、振込期限までに振込が確認できない場合は懇親会に参加頂くことはできません。

◆**申込方法**：次の要領でお申し込みください。定員 40 名になり次第、受付を終了いたします。
なお、送信後 3 日以内に受付確認の返信がなければ、再度ご連絡ください。

手順 1：記載事項を入力の上、下記メールアドレスに送信してください。

- ・ E-mail：tkinugasa@sonoda-u.ac.jp（園田学園女子大学人間教育学部 衣笠知子）
- ・ メール件名：「JASTEC 研修セミナー申込」
- ・ 記載事項：①氏名、②住所、③電話番号、④会員種別（一般・学部学生・賛助・団体）、
⑤勤務先・学校名、⑥参加費種別（会員・非会員・新規入会の別）、
⑦懇親会参加希望の有無
- ・ 申込締切り：2015 年 7 月 29 日(水) 23：59

手順 2：受付確認の返信が届きましたら、次の口座に参加費をお振り込みください。

振込先 三菱東京 UFJ 銀行 天六支店 [普通] 1178206 名義：衣笠知子
振込期限：2015 年 7 月 30 日（木）15：00

なお、当日欠席の場合は、返金いたしかねますことをご了承ください。

◆プログラム

総合司会 高田 悦子（大阪商業大学 非常勤講師）

・ オリエンテーション（10:00-10:05）

1. 講義（10:05-11:00）

「教科『小学校英語』の見通し—『外国語活動』から『教科・英語』に向けて、今なにをすべきか」

講師：國方 太司（大阪成蹊大学 教授・副学長）

2. 模擬授業（11:10-12:20）

「ティームティーチングの利点を活かした授業実践— $1+1=2+\alpha$ を目指して」

講師：多田 玲子（大阪教育大学 非常勤講師）

田邊 義隆（近畿大学 准教授）

<< 昼食と懇親会 >>

3. ワークショップ① (13:30-14:30)

「発達段階に応じた指導のあり方—3・4年生の授業、および高学年への展開方法」

講師：トム・マーナー（同志社国際学院初等部 教頭）

4. ワークショップ② (14:40-15:40)

次の(1)、(2)より1つを選択

(1)「音韻認識から文字認識へ」

講師：衣笠 知子（園田学園女子大学 准教授）

(2)「英語発音クリニック—英語らしく聞こえるために」

講師：箱崎 雄子（大阪教育大学 准教授）

5. ワークショップ③ (15:50-16:50)

「15分のモジュール授業の内容と指導法」

(1)音に慣れ親しむ活動

(2)言語材料の定着を促す活動

(3)絵本を用いる活動

講師：田縁 眞弓（京都教育大学非常勤講師、私立小学校英語専科教員、
公立小学校英語活動アドバイザー）

・閉会のあいさつ (16:50-16:55)

・事務局からの連絡 (16:55-17:00)

◆國方 太司（くにかた たかし）

専門は英語教育学で、小学校外国語活動から大学における英語教育まで幅広い学習段階を対象に、「楽しいだけでなく、英語力のつく指導実践」を信条として教育改善に取り組んでいる。今回は「教科・英語」がスタートする前に、準備しておくことを皆さんと考える講義を予定しています。

◆多田 玲子（ただ れいこ）

教員養成系大学で児童英語教授法や教材論等を担当。市教委や小学校での教員研修にも数多く携わる。本セミナーでは、模擬授業で学級担任の役割を担当するが、学級担任がその長所をいかす IT のあり方を参加者の皆様と考えたい。著書に『小学校英語教育法入門』（共著、研究社）他。

◆田邊 義隆（たなべ よしたか）

ゲストティーチャーや研修会講師として小学校現場に足を運び、小学校教諭や児童と直接触れ合うなかで、外国語活動の現状や課題を肌で感じ取ろうと努めている。今回のティームティーチングでは、外部指導者として、学級担任が力を発揮できる支援を意識して模擬実践したい。

◆Tom Merner（トム・マーナー）

現職では、英語55%日本語45%のイマージョン・プログラムとIB・PYPプログラムを並立した学校創りに取り組む。前職（私立小・中英語科）では、小学校英語活動向けの教材開発や教員研修に携わる。本セミナーでは、教科内容を活用した、聞いて理解することにフォーカスをあてた活動を紹介する。

◆衣笠 知子（きぬがさ ともこ）

大学では幼稚園・小学校教諭を目ざす学生に「子ども英語」「児童英語指導法」などを担当している。市教委などの教員研修にも携わっている。今回は、児童がプレッシャーなく英語の音韻（音素）に慣れ親しみ、文字との関連への気づきを促す、音遊び、ゲーム活動などの指導方法を紹介します。

◆箱崎 雄子（はこざき ゆうこ）

英語を英語らしく話すには、どのようにすれば良いのでしょうか。ワークショップでは、英語独特のスピード感、リズムやイントネーションといった「プロソディ感覚」の養成を目指して、歌やジャズチャンツなどを利用した訓練法を紹介します。“これだけで英語らしく聞こえる”ためのコツを伝授します。

◆田縁 眞弓（たぶち まゆみ）

大学教員養成課程における小学校英語指導法講師を担当。公立小学校教員や市教委と共に小学生に適した文字指導を研究実践中。絵本の読み聞かせ・歌やチャンツを取り入れた読みの指導を私立小学校で行う。今回はモジュールを効果的に活用する指導をみなさんと考えたいと思います。